**第 9回実務委員会**

* **概要**

|  |  |
| --- | --- |
| 期間 | 2013-09-10 ～ 2013-09-13 |
| 開催地 | 韓国 > 全羅南道、ホテル現代霊岩 |
| 開催者 | 韓国 > 全羅南道 |
| 参加 | ５カ国25自治体および関係機関 |
| 中華人民共和国(4) | 黒龍江省、山東省、寧夏回族自治区、湖北省 |
| 日本国(3) | 富山県、兵庫県、島根県  |
| 大韓民国(11) | 釜山広域市、大邱広域市、光州広域市、世宗特別自治市、京畿道、忠清北道、忠清南道、全羅南道、慶尚北道、慶尚南道、済州特別自治道  |
| モンゴル国(5) | ウブルハンガイ県、セレンゲ県、オルホン県、バヤンホンゴル県、ウムヌゴビ県 |
| ロシア連邦(1) | 在釜山ロシア総領事館 |

* **内容**

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|

|  |
| --- |
| **▷2012第9回NEAR総会結果報告****▷ NEAR事務局及び分科委員会主要活動報告****▷NEAR新ビジョン研究結果報告****▷自治体代表発表** |
|  |
|

|  |
| --- |
| **▷実務委員会議題発表及び議論▷合意文発表、視察** |

 |
|  |
|  |

 |

* **合意文**

**2013年第9回NEAR実務委員会**

**合意文**

北東アジア地域自治体連合(NEAR)第9回実務委員会が、5カ国25会員自治体60名が参加したなか、2013年9月11日、韓国全羅南道霊岩郡にて開催された。

会議では、開幕式に続き、2012年の第9回NEAR総会結果報告、NEAR事務局活動報告、8つの分科委員会の開催・活動報告などが行われ、提案及び報告、討論の案件として、中国湖北省と寧夏回族自治区からそれぞれNEARの発展に向けた活動分野の拡大などについての提案があり、NEAR事務局は2020年を控えてNEARの長期ビジョン策定に向けた研究結果にかかる報告を行った。また、2016年第11回NEAR総会の誘致申請と分科委員会の新設・名称変更、並びにNEAR事務局が提案したNEAR憲章の改正などについて議論と審議が行われた。

実務委員会で提案された主要内容と総会への上程案件にかかる討論及び審議、議決事項は次のとおり。

**□提案についての討論**

(1)中国湖北省が提案したNEARの交流協力拡大方法に関連して、自治体中心の交流協力から一歩進み、地方議会、経済貿易分野、民間団体、企業にまで拡大し、会員自治体内の友好都市交流を推進し、事務局の主導のもと、メディアを通じてPRと情報交流を強化するべきだという提案について、会員自治体は積極的に賛成し、地方議会を含め、交流・協力の範囲を拡大するとともに、地域内の基礎自治体間の交流・協力を積極的に支援することで合意した。

(2)中国寧夏回族自治区が提案したNEARの交流・協力の強化方法として、NEAR事務局を積極的に活用しながらNEAR総会などの行事の際、会員自治体間の友好協力協定の締結などを同時に推進することで効果をあげることと、会員自治体が主催する大規模の国際行事に会員自治体が積極的に参加することで共同繁栄を図る広報チャンネルを構築するという提案について、参加会員自治体はこの必要性に積極的に共感し、会員別に人的、財政的問題点によって積極的な参加に若干の支障がある場合もあるが、これを推進することとし、事務局からも体系的な支援システムと広報チャンネルを構築することで合意した。

**□調査研究報告**

NEAR事務局では、NEAR創設25周年に当り、NEAR長期ビジョンの樹立のため2012年に韓国慶北大学アジア研究所に委託研究を依頼し、同研究所の提案内容を要約報告書（英文）とともに実務委員会に報告した。

提案の主要内容は以下のとおり。

1. ガバナンスの再確立で、常任議長団の構成、議長と事務総長の役割強化、専門家グループ及び諮問団の構成、分科委員会の系列別統合など。
2. NEAR事務局の機能強化として、人的構成と専門性の向上、事務局インフラの拡充、国家別連絡事務所の設置、常勤専門委員の拡大など。
3. 財務構造の再整備として、会費制の段階的な導入方法の提示
4. NEARの新たな事業開発方法

参加会員自治体は中長期的に財政構造の再整備（会費制等）について十分な議論が行われるべきという意見とともに、事務局は会員自治体全体に委託調査研究書（英文）を送付し、 検討を行い、これを収集して最終的な修正を行った報告書を次期総会に報告、審議、議決することで合意した。

**□総会上程案件と議決事項**

1. NEAR創設20周年となる意味深い2016年第11回NEAR総会の開催地選定に関連し、ロシア連邦ザバイカリエ地方、イルクーツク州とモンゴル国ウブルハンガイ県など3つの会員自治体が申請をした。過去の開催実績、アクセス、経済的な収容能力などを勘案して議論を行い、今後国家間の平等性などを勘案して、ロシアとモンゴルの各1自治体を選定して、総会に上程し、最終的に議決を行うことで合意した。

但し、モンゴル国ウブルハンガイ県での開催が難しい場合、ロシアの2会員自治体で総会に上程することで合意した。

1. NEAR憲章の改定事項である実務委員会の開催周期と事務局の長期設置に関連し、憲章に修正を行い、北東アジア地域自治体連合の名称と関連しては、韓国語の表記に限って自治団体を地方政府に変更するとともに、韓国の16会員自治体と協議の後に確定し、次期総会に上程する。
2. 分科委員会の名称変更に関連し、1998年に設立され、韓国慶尚北道がコーディネート自治体を務めている「経済通商分科委員会」を従来の経済貿易中心の運営から時代的な要求に応えるとともに、人文分野にまで交流・協力を拡大するため、「経済人文分科委員会」に名称を変更することを提案した。

参加会員自治体の真摯な議論を通じて名称変更案を受け入れ、議決した。(NEAR憲章第11条に基づく)

但し、各言語別の表記方式は国家別に適切な表記とすることで決定し、これを次期総会に報告することで合意した。

1. 分科委員会新設に関連し、ロシア連邦サハ共和国から会員自治体間のスポーツ分野での積極的な交流・協力を推進するため、スポーツ分科委員会の新設の提案があり、これについて議決した。(NEAR憲章第11条に基づく)

但し、分科委員会の過度の細分化を憂慮する意見があり、統合にかかる意見も提示されたが、これは運営の仕方で解決することとし、これを次期総会に報告することで合意した。

**□付則**

以上の第9回NEAR実務委員会の合意文は英語とともに、中国語、日本語、韓国語、モンゴル語、ロシア語の6言語で作成し、NEAR全会員自治体に送付することとする。

**2013年9月11日**

**北東アジア地域自治体連合**

**第9回実務委員会**